

平成28年（2016年）3月24日

4月9日（土）相模大塚駅構内で  
**9000系リニューアル車両の撮影会を開催**  
ヨコハマネイビーブルーの車両と新・旧塗装車両の3編成が勢ぞろい

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道(株)（本社・横浜市西区、社長・小澤重男）では、平成28年（2016年）4月9日（土）、相鉄線 相模大塚駅構内で「9000系リニューアル車両デビュー記念撮影会 in 相模大塚」を開催します。

このイベントは、「デザインブランドアッププロジェクト※」の第1弾としてデビューした9000系リニューアル車両を営業運転開始に先駆けてお客様に披露するものです。横浜の海をイメージした「ヨコハマネイビーブルー」で塗装された車両と、新塗装・旧塗装の9000系3編成が並んだ姿を撮影していただけるほか、会場内特設テントでは日本鉄道写真作家協会（JRPS）による相鉄線の写真展やリニューアル車両をデザインした記念グッズ・相鉄グッズの販売なども行います。

リニューアルした9000系車両は、相鉄線が都心への相互直通運転※を予定していることから直通用車両のプロトタイプを兼ねてフルリニューアルしたものです。主な変更点は、大手私鉄通勤車両では初となる調光機能付きの車内照明や、英国スコットランド製の本革をクロスシートに採用したことなどで、デザイン性や快適性を高めた車両としています。

詳細は別紙のとおりです。



新しくリニューアルされた9000系 ※営業運転の開始は4月10日（日）を予定

## 「9000系リニューアル車両デビュー記念撮影会 in 相模大塚」の概要

- 開催日時 平成28年(2016年)4月9日(土)  
10:00~15:00(最終入場時間は14:30)  
入場無料  
※雨天決行、荒天中止  
※中止の場合は8:00以降に各駅でお知らせします。
- 開催場所 相鉄線 相模大塚駅構内(横浜駅から急行で24分、海老名駅から9分)
- 内 容

### ①9000系車両撮影会

リニューアル車両(ヨコハマネイビーブルー塗装)、新塗装車両、旧塗装車両の3編成を並べた車両撮影会を実施します。

・展示車両 9000系

＜リニューアル車両・写真左＞9703×10両

＜新塗装車両・写真中央＞9706×10両

＜旧塗装車両・写真右＞9705×10両

※当日の運行状況により、車両を変更することがあります。

※入場制限を行う場合がございますので予めご了承ください。



9000系3編成

### ②日本鉄道写真作家協会(JRPS)による相鉄車両・沿線の写真展示会

・実施概要 プロの鉄道写真作家が撮影した、相鉄線の魅力あふれる写真を展示します。

・実施時間 10:00~15:00

・会場 会場内特設テント

### ③9000系リニューアル車両デビュー記念グッズ&相鉄グッズの販売

・実施時間 10:00~15:00

・会場 会場内特設テント

※鉄道部品の販売はございません。

お問い合わせ先 相鉄お客様センター 電話045-319-2111

(平日 8:00~20:00、土・休日 9:00~17:00)

## ※デザインブランドアッププロジェクト

相鉄グループは、平成29年(2017年)12月に創立100周年を迎え、その後も都心への相互直通運転を予定していることから、お客様との最大の接点となる鉄道の駅舎や車両、駅に隣接する商業施設などを統一されたデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」を実現するための取り組みです。

## ※都心への相互直通運転

相鉄・JR直通線[平成30年度(2018年度)開業予定]は、相鉄線西谷駅とJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近間に連絡線(約2.7km)を新設し、この連絡線を利用して相鉄線とJR線が相互直通運転を行うものです。また、相鉄・東急直通線[平成31年(2019年)開業予定]は、JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近と東急東横線・目黒線日吉駅間に連絡線(約10.0km)を新設し、この連絡線を利用して相鉄線と東急線が相互直通運転を行うものです。この横浜市西部および神奈川県央部と東京都心部とを直結する新たな路線の開業により、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化がなされ、所要時分の短縮や乗換回数の減少など、鉄道の利便性向上が図られるとともに、地域の活性化等に寄与します。新幹線へのアクセスの向上や相鉄線沿線等のさらなる発展にも貢献します。



## リニューアル車両の概要

1. 対象車両 9000系電車(1993年登場)
2. 主な改良内容
  - ・外観
    - 塗装を「YOKOHAMA NAVYBLUE」(ヨコハマネイビーブルー)に変更
    - 前面下のカバー(スカート)の形状変更
    - 前灯の取り付け位置変更
    - 車外行き先案内表示装置をカラー化し、種別・行き先表示を一体化
    - 車両番号の書体を、ドイツ工業規格を意味する「DIN」を基に作成した新書体に変更
  - ・内装
    - キーカラーをグレーとし、内装・床・天井部を一新
    - 自動窓の操作ボタンを点灯化
    - 全てのお客様が使いやすくなることを考えた、新形状の吊手を採用
  - ・座席
    - (一般座席)着席区分の明確化、表地のデザイン変更
    - (クロスシート)スコットランド製本革を採用した新形状に変更
    - ※座席端部のドアと接する箇所に、板状の袖仕切りを設置し、快適性を向上。
  - ・車内案内表示装置
    - 17インチワイド液晶画面式とし、行き先や路線案内の内容を充実
  - ・室内灯
    - LED方式とすることで消費電力を削減するとともに、時間帯・季節等で色合いをきめ細かく変更できる調光・調色式とし快適性を向上
  - ・バリアフリー
    - 扉の開閉時に点灯する開閉予告灯を設置
  - ・安全・快適性向上
    - 車両間に耐火ガラス製の引き戸を設置
    - 天井部の耐火性向上
    - 視認性向上のために、透明ガラス式のドアランプに変更
    - 開閉時の安全性向上のため、車内側のガラスを一体面とした扉に交換
    - 車両情報装置(モニタ装置)改良
  - ・その他
    - 今回のリニューアルに先立ち、前灯のLED化、VVVFインバータ装置、冷房装置(代替フロンの採用)などの機器更新を実施しております。
3. デザインブランドアッププロジェクトにおける車両リニューアル検討体制  
鈴木啓太氏(PRODUCT DESIGN CENTER代表)  
株式会社GKインダストリアルデザイン  
※鈴木啓太氏は、車両デザイン全体のプロデュースを、(株)GKインダストリアルデザインは、車両リニューアルの実施デザインを依頼しております。

### 鈴木啓太氏プロフィール

プロダクトデザイナー、PRODUCT DESIGN CENTER代表  
1982年愛知県生まれ。多摩美術大学プロダクトデザイン専攻卒業。  
2012年PRODUCT DESIGN CENTERを設立。  
プロダクトデザインを中心に、プランニングからエンジニアリングまでを統合的に行い、家電、モビリティ、家具、日用品、アートに至るまで、国内外で様々なプロジェクトを手掛けている。



### 株式会社GKインダストリアルデザイン

コンシューマープロダクツから産業機器、トランスポートまで手掛ける総合デザイン事務所。公共交通の分野においては通勤車両から特急車両、LRTやBRTなど幅広くデザインしている。  
JR東日本E233系、JR東日本E259系N'EX、富山ライトレール0600形、札幌市交通局A1200形、新潟市BRT用連接車両など。

**GKID**  
GK Industrial Design Incorporated